

出題分析			
試験時間	90 分	配点	80 点
		大問数	5 題
分量 (昨年比較)	[減少 同程度 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>大問 I が対話文読解問題、大問 II～V が長文読解問題という例年通りの構成である。大半は選択式の設問だが、大問 II～V では記述式の語句整序問題が 1～2 問出題されている。今年では T/F 式の内容真偽は出題されず、新傾向の問題として段落の見出しを選ぶものが出題された。昨年はほとんどの大問が 50 行程度の文章を題材としていたが、今年は 70～90 行程度の文章が 3 題出題されており、全体的に読解量が増加している。90 分という試験時間内に比して例年以上に読解量や設問数が多く、受験生にとってはますます負担が増加した。昨年と比較して難化したと言ってよいだろう。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	対話文読解問題 (会社の同僚同士の対話)	空所補充、同義表現選択が出題された。空所補充のうち設問 1 は比較的平易だが、設問 2 は選択肢に会話文特有の表現が含まれており、知識がないと苦労するだろう。特に空所 4 は判断に悩むところである。同義表現選択は、対話の流れを正確につかめればそれほど難しくない。	標準
II	長文読解問題 (利用が伸び悩む「529 プラン」)	内容一致、空所補充、語句整序が出題された。アメリカの教育資金積立制度「529 プラン」に関する文章で、なじみのない受験生にとっては読みにくいだろう。内容一致と語句整序は比較的解きやすいが、空所補充は単語のやや細かい知識・用法を問うものも含まれている。	標準
III	長文読解問題 (AI チャットボットを用いたスペイン語学習)	内容一致、空所補充、同義表現選択、表題選択、語句整序が出題された。筆者の体験が具体的に述べられた文章なので、比較的読みやすい。設問 1 は紛らわしい選択肢が含まれており判断に悩むものもあるが、それ以外の設問は落ち着いて取り組めば正解にたどり着けるだろう。	標準

IV	長文読解問題 (パスワード機能付き BCI の可能性)	空所補充、同義表現選択、内容一致、表題選択、語句整序が出題された。大問Ⅱ・Ⅲ・Ⅴと比べて読解量が少ないものの、ブレイン・コンピュータ・インターフェース (BCI) に関する専門的な内容で、難度は高めである。内容一致は、本文中に登場する人物の記述として一致するものを選ぶ設問であり、選択肢を細部まで読む必要がある。その他の設問は比較的解きやすい。	標準
V	長文読解問題 (音楽生成 AI とアーティストの権利)	同義表現選択、空所補充、内容一致、段落見出し選択、語句整序が出題された。抽象的かつ専門的な内容の文章であり、一読して正確に理解するのは難しい。内容一致は時間の許す限り、選択肢を細かいところまで丁寧に読みたい。空所補充は少々判断に迷うものが含まれている。その他の設問は標準的な難易度だが、時間不足で解き切れなかった受験生も多かったことだろう。	やや難

合格のための学習法

早稲田大学商学部の英語の問題は、基本的な出題形式や傾向がおおむね一定している。語彙レベルはやや高いものも散見されるが、文章の内容自体にそれほど難解なところはない。しかし、試験時間に比して読解量と設問数が多いため、結果として難易度は高くなる。返り読みをせずに一読して内容を把握する速読力を身につけたい。また、年によっては選択肢に紛らわしいものがあり、判断に迷う設問が見られることもある。1つの設問にあまり時間をかけすぎずに、90分という制限時間内に一通り解き終えることができるよう、時間配分に気を配った演習を積み重ねることが効果的であろう。